

令和4年度 授業づくり研修会 授業公開

令和5年1月26日赤磐市立山陽西小学校「国語科」

令和5年1月26日に山陽西小学校で、国語の公開授業が行われました。古くから教科書で扱われている物語文「ごんぎつね」の学習でした。授業の様子と協議の様子をお伝えします。

「二人の心を想像して二人の心のつながり、きよりを確かめよう。」という目標で学習が進められました。

登場人物（ごんと兵十）の気持ちや気持ちの変化を叙述から想像し、気持ちの変化をグラフを用いて表現することで「心のつながりやきよりに」着目するという授業でした。

終始、子ども達の主体的に学ぶ姿が見られる素晴らしい授業でした。

4年A組「ごんぎつね」

森下 憲 教諭



<授業での子ども達の様子>

子ども達は本文が書かれたワークシートに叙述から想像できる気持ちを書き込んだり、本文に線を引いたりして、自分の考えをもって授業に取り組んでいました。そのことが、対話を活発化させ、学びの深まりにつながっていました。また、グループで共有した考えをタブレット上でまとめ、他のグループと共有することで素早く、効率よく他者の意見を参考にすることができていました。

<研究協議会の様子>

協議で上がったキーワード

①「適切なフィードバック(評価)」

子ども達が自分の考えと友達の実践とを比べながら主体的に対話し、学習のゴールに向かっていく姿が見られることについて話題が上がりました。

学習の成果(ノートやワークシート等)に対して、教師が子どもの努力や成長、学習の理解を認め、価値づけるフィードバック(朱書きのコメント等)を丁寧に継続して行うことで、どの子も自信をもって自分の考えを伝え、興味をもって友達の実践を聞くことができていたという意見が交わされました。

②「身に付けるべき力(ゴール)を明確にもつ」

子どもから出てくる多様な意見をどのように拾い上げていくかについても意見が交わされました。

子どもに身に付けさせたい力(ゴール)を明確にもち、子ども達の意見の中に、ゴールにつながる手掛かりを見つけ意見をつなげることの大切さが話し合われました。そのためにも日々、教材研究をしっかりと行うことの大切さも共有されました。



西小の子ども達が熱心に学習に取り組んでいる姿、授業の終わりに「楽しかったあ」と声を漏らす姿に、「主体的・対話的」に学ぶ姿の具体を見たように思いました。

協議でも先生方が自身の実践と重ね合わせながら熱心に協議されている姿が印象的でした。

「授業って楽しいな、子どもってすごいな」と感じる温かいひと時でした。

今年度から実施した「授業づくり研修会」は全7回でした。のべ98名の先生方にご参加いただき、その都度活発なご意見をいただき、ありがとうございました。来年度も先生方にとって明日の授業が楽しみになるような研修会を考えていきたいと思っております。